



駒澤大学1-2流通経済大学

流経大に競り負け、再び降格圏へ...

敗戦にショックの色を隠しきれない駒大(撮影:河田奈津子)

| | |
|---|-----------------------------|
| 11月3日 13:50 平塚競技場 | |
| 駒大 1 (0-1) | 流経大 2 (1-1) |
| (11位) | (6位) |
| 得点者(アンス) | |
| [駒]61分 林堂 | [筑]33分 保戸田(田向) [筑]89分 椎名 |
| KOMAZAWA | RYUTUKEIZAI |
| GK①大石健太(2) | GK①増田卓也(4) |
| DF⑤三澤祥馬(3) | DF⑤木下 匠(2) |
| DF③三宅 徹(4) | DF④乾 大知(4) |
| DF④林堂 真(4) | DF⑥比嘉祐介(4) |
| DF②砂川大志(4) | DF②田向泰輝(2) |
| MF②⑩江川昇吾(4) | MF⑦⑩富田湧也(1) |
| MF⑦⑩碓井鉄平(2) | (72分)③古川大士(3) |
| MF⑧奥村 情(3) | MF⑩関戸健二(4) |
| MF⑥濱田 宙(4) | MF⑦⑩村瀬勇太(2) |
| (54分)⑦山本大貴(2) | MF⑤椎名伸志(2) |
| FW⑩大園祥太(4) | FW⑧保戸田春彦(4) |
| (73分)⑨小牧成互(1) | (90分)⑦小川晃平(3) |
| FW⑪湯澤洋介(3) | FW⑩河本明人(3) |
| (79分)⑧小牟田洋佑(1) | (81分)⑧中美慶哉(2) |
| S U B | S U B |
| GK②⑩榎山昇吾(2) | GK②⑩真辺勇氣(2) |
| DF③⑩川岸裕輔(1) | DF⑥⑩大貫彰悟(3) |
| DF⑨⑩大木 暁(1) | MF⑨⑩中山雄登(2) |
| MF④⑩板倉直紀(1) | FW⑨⑩上條宏晃(4) |
| MANAGER | MANAGER |
| 秋田浩一 | 中野雄二 |
| [シュート]6:19 [GK]11:10 [CK]3:7 [直接FK]16:15 [間接FK]2:6 [主審]佐野元康 [観衆]約 550人 | |
| 警告(C) / 退場(S) | |
| [流]田向泰輝(C) [駒]砂川大志(C) | |
| ※データの左側が駒大 | |

意地のゴールで追いつくも惜敗

タレント軍団、流経大との一戦。前節、終了間際の失点で引き分けに終わってしまったものの、内容への手ごたえを感じた試合であった。結果が欲しい戦いだったが、1-2で敗戦、再び降格圏へと沈んでしまった。

前半立ち上がりこそ、ロングボールを中心とした、駒大サッカーが機能するが、流経大が徐々に中盤でパスを回し始めると、主導権を握る。18分、22分に立て続けてミドルシュートを打たれると、28分に放たれたシュートはクロスバーへ。パス回しと、ミドルシュートで試合のペースを握られた。

そうして迎えた33分、流経大が、右サイドから細かいパス回しをつないでいくと、左サイドへ展開。完全に崩されクロスを上げられると、最後はフリーでヘディングシュートをたたきこまれた。

その後は集中したディフェンスを見せた駒大。攻撃ではセットプレーから反撃するが、得点を奪うことはできず、前半を終了する。

後半に入ると、気合を入れなおした駒大が攻めた。46分にロングボールを湯澤がワントラップしてシュート。これは上に外れるが、駒大がリズムをつかむ。47分

には湯澤と奥村のワンツーから最後は大園が抜け出す。これは、トラップがわずかに大きくなり、決めきれない。チャンスをものにできないまま時間が過ぎていったが、61分、ついに実を結ぶ。35mはあろうかという位置で得たフリーキックで、キッカーは林堂。その右足から放たれたシュートは無回転でゴールへ一直線、ポストに当たりながらもゴールにねじ込むスーパーゴールで同点に追いついた。

そのまま勢いに乗りたかったが、流経大もミドルシュートを何本も放ち、リズムを作らせない。その後、攻められる時間が多くなるも、粘り強い守備で耐えていたが、44分、流経大は右サイドから一人交わすと、駒大のプレスがかからずそのままミドルシュート。完璧なコースに飛んだシュートは、キーパーも届かずゴールへ。「(得点後)守備の意識が薄くなってしまった」(林堂主将)と話したように、前への意識が裏目に出てしまった。またも終了間際の失点で、悔しい黒星となった。

2日後には中大戦が控えている。ともに下位に沈んでおり、勝てば降格圏脱出となる。下を向いている暇はない。自分たちのペースを握る時間を増やせば、勝利はついてくる。(森下和貴)